**事　業　報　告　書**

**平成２６年度**

**社会福祉法人　　逢　花**

**特別養護老人ホーム　粟生逢花苑**

**粟生逢花苑　ショートステイ**

**粟生逢花苑　デイサービスセンター**

**粟生逢花苑　ヘルパーステーション**

**粟生逢花苑　在宅介護支援センター**

**ケアハウス　粟生逢花苑**

**●特別養護老人ホーム**

1. **援助目標・利用者ケアの重点**

　●援助目標

1. 快適で安全に暮らしていただける環境整備
2. 正しい言葉遣い、気持ちの良い挨拶と笑顔で接する
3. 職員基礎教育の徹底

　●利用者ケアの重点

1. ご利用者に喜びを感じていただける生活の提供
2. 終末期ケアの質の向上
3. **ご利用者の概況**
   1. 年齢別（平成２７年３月３１日現在）　　　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 65歳  以下 | 66歳～70歳 | 71歳～75歳 | 76歳～80歳 | 81歳～85歳 | 86歳～90歳 | 91歳～95歳 | 96歳  以上 | 合計 |
| 男性 | ０ | ０ | １ | １ | １ | ２ | ０ | ０ | ５ |
| 女性 | １ | ０ | ２ | ４ | ４ | １２ | １７ | ８ | ４８ |
| 合計 | １ | ０ | ３ | ５ | ５ | １４ | １７ | ８ | ５３ |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 平均年齢 | 最高齢 | 最年少 |
| 男性 | ８１.２歳 | ８８歳 | ７３歳 |
| 女性 | ８９.１歳 | １０１歳 | ６４歳 |

* 1. 在苑年数（平成２７年３月３１日現在）　　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | １年  未満 | １年  以上 | ２年  以上 | ３年  以上 | ４年  以上 | ５年  以上 | ６年  以上 | 合計 |
| 男性 | １ | １ | １ | ０ | ０ | ０ | ２ | ５ |
| 女性 | １７ | ６ | １０ | ５ | ４ | ０ | ６ | ４８ |
| 合計 | １８ | ７ | １１ | ５ | ４ | ０ | ８ | ５３ |

* 1. 要介護度別（平成２７年３月３１日現在）　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 要介護１ | 要介護２ | 要介護３ | 要介護４ | 要介護５ | 合計 | 平均 |
| 男性 | ０ | １ | ２ | ０ | ２ | ５ | ３.６ |
| 女性 | ０ | ２ | １７ | ２３ | ６ | ４８ | ３.７ |
| 合計 | ０ | ３ | １９ | ２３ | ８ | ５３ | ３.６ |

* 1. 出身地別（平成２７年３月３１日現在）　　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 小野市 | 加東市 | 加西市 | 三木市 | 県外 | 合計 |
| 男性 | ４ | ０ | １ | ０ | ０ | ５ |
| 女性 | ４１ | ３ | ３ | １ | ０ | ４８ |
| 合計 | ４５ | ３ | ４ | １ | ０ | ５３ |

* 1. 入退所状況（月別）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| 入所 | ０ | ３ | ２ | ２ | １ | １ | １ | ２ | ２ | ２ | ２ | ６ | ２４ |
| 退所 | １ | ４ | １ | ２ | ０ | １ | ２ | ２ | ２ | ３ | ４ | ３ | ２５ |

* 1. 生活能力別（平成２７年３月３１日現在）　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 男性 | 女性 | 合計 |  |  | | 男性 | 女性 | 合計 |
| 移動　状況 | 自立歩行 | １ | １ | ２ | 食事　状況 | 主食 | 普通 | ３ | ２４ | ２７ |
| 杖・歩行器など  （介助必要） | ０ | １ | １ | 粥  ソフト食 | ２ | １５ | １７ |
| 車椅子（自立） | ２ | １９ | ２１ | 副食 | 普通、一口 | ２ | ２２ | ２４ |
| 車椅子（一部介助） | ０ | ６ | ６ | キザミ・ソフト  ミキサー食 | ３ | １７ | ２０ |
| 車椅子（全介助） | ２ | ２１ | ２３ | 経管栄養 | | ０ | ９ | ９ |
| ストレッチャー | ０ | ０ | ０ |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 男性 | 女性 | 合計 |  |  | 男性 | 女性 | 合計 |
| 排泄　状況 | トイレ・Ｐトイレ  (自立) | １ | ５ | ６ | 入浴　状況 | 一般浴  （自立） | ０ | ２ | ２ |
| トイレ・Ｐトイレ  （一部・半介助） | ２ | ２１ | ２３ | 機械浴  （座浴） | ３ | ３０ | ３３ |
| トイレ・Ｐトイレ  （全介助） | ０ | １ | １ | 機械浴  (ストレッチャー) | ２ | １６ | １８ |
| おむつ | ２ | ２１ | ２３ |  |  |  |  |

* 1. 特養待機者状況（平成２７年３月３１日現在）　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 小野市 | 加東市 | 加西市 | 三木市 | 西脇市 | 加古川市 | 待機者  合計 |
| １５８ | １２ | ６ | ２ | ２ | １ |
| 神戸市 | 明石市 | 篠山市 | 県内他市町 | 県外 |  |
| ２ | ２ | １ | ０ | ０ |  | １８６ |

* 1. 特養入所申し込み状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| 新規申込 | ５ | ６ | ４ | ７ | １１ | ５ | ４ | ４ | １ | １０ | １１ | ５ | ７３ |
| 取り下げ | ７５ | ４ | ４ | ５ | ２ | ４ | ３ | ６ | ２ | １ | ４ | ３５ | １４５ |

※H26.4とH27.3は追跡調査を行ったため、取り下げが多数ありました。

1. **サービス評価事業**

今年度は兵庫県老人福祉事業協会が実施する『サービス評価事業』に取り組みました。

サービス評価事業とは、特養職員全員で自己評価を行い、施設内の課題を抽出し、　　問題点を整理・改善、そして検討しながらサービスの質の向上を目指す事業です。

事前に提出した資料をもとに、１２月９日には県内学識経験者８名に来苑いただいて様々なディスカッションを行い、サービスの質の向上に向けての実践的アドバイスを　いただきました。今後に向けた大きな活力として非常に有意義な時間でした。

**●デイサービス**

1. **基本方針**

ご利用者が、その有する能力に応じ、可能な限り自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的とし、在宅の要介護者、要支援者等に対し、通所型の各種サービスを提供します。

ご利用者の居宅生活支援、社会的孤立感の解消、心身機能の維持・向上などを図るとともに、ご利用者・ご家族のプライバシーの尊重に万全を期し、ご家族の身体的・精神的な負担の軽減を図るように努めます。

粟生逢花苑デイサービス　コンセプト

**笑顔のたえないデイ、安心・信頼されるデイを実現し、**

**また行きたい・次も利用したいと思っていただけるデイサービスを目指します**

1. **事業報告**

平成２６年度の稼働率は、『デイサービス利用状況』の通り７７.０％となりました。

長年利用して下さるご利用者も多く、その分体力面・機能面など徐々に低下していくご利用者もおられます。お元気な方はもちろん、体力低下・機能低下のある方にも安心して利用していただけるように、介護・ケア技術の向上や環境整備に取り組みました。

機能訓練では、ご利用者が良い姿勢になれることを目標とし、いきいきと在宅生活が送れ、またご家族の介護負担の軽減が図れるように取り組みました。機能訓練は、ケアマネジャーや主治医との連携を重視して行っています。理学療法士の直接指導やアドバイスを得ながら、ご利用者の皆様は楽しく、そして真剣に取り組んでおられました。

行事・レクリエーションでは、月行事の充実はもちろん、日々のレクでも新しいもの、ご利用者が楽しんで参加できるものとなるように、スタッフ皆で考えて行いました。　　誕生日会の工夫、参加型レクの導入、料理レク・食事レク、小物・木工などの物づくり、壁面製作など、笑顔あふれるデイサービスとなるように取り組んでいます。また、楽しみながら日常生活動作訓練やご利用者同士の交流が図れるように工夫しました。

２７年度は介護保険制度の改正等、大きな変化が予想されますが、今後もご利用者・ご家族により一層満足していただけるように、『皆様が何を必要とされているのか？　　何を求めておられるのか？』を考え、職員が一つになってより良いサービスを提供していきたいと思います。『笑顔のたえないデイ、安心・信頼されるデイの実現』に向けて、職員一同取り組んでいきます。

**●ヘルパーステーション**

1. **基本方針**

ご利用者が、可能な限り在宅において、その有する能力に応じて自立した日常生活を　営むことができるように、入浴、排泄、食事等の身体介護、その他生活全般にわたる　　　援助を行います。

また、訪問介護サービスがご家族の介護負担の軽減につながることを視野に入れつつ、在宅の要介護者等に対し、自立支援に向けての援助を行います。

介護予防サービスについては、日常生活上の基本動作がほぼ自立したご利用者の身体　状況に即した自立支援と目標指向型のサービスを提供していきます。

1. **事業内容**
2. 生活習慣や文化などを理解し、ご利用者を違う個性とかけがえのない命を持った尊重すべきひとりの人間として、その人のニーズに合わせた援助に努めました。
3. サービス担当者会議に出席し、ご利用者・ご家族のニーズをよく理解し、心身状態を把握するとともに、信頼関係をもとに、その人らしい在宅生活の実現に向けて、よりよいサービス・心のケアが提供できるように努めました。
4. 社会との接触を保てるように情報提供を行い、訪問介護サービスがご利用者と社会との窓口となれるような援助に努めました。
5. ケアマネジメントなどの関連サービスとの連携、医療・保健・福祉その他関連領域に従事する者との連携を積極的に図り、協力して行動しました。
6. 予防的な視野を持ち、他職種とも連携しながら、リハビリに関する事なども取り入れるように努めました。
7. ご利用者・ご家族とのコミュニケーションを十分に図り、信頼関係の構築に努めるとともに、助言や指導、苦情などをお聞きした時は迅速に対応し、また改善するように努めました。
8. 職員間の情報共有のため、報告・連絡・相談を徹底しました。
9. サービスの質の向上のため、年間の研修計画を立てて実施するとともに、苑内・苑外研修にも積極的に参加し、職員の資質向上に努めました。また調理技術の向上、新しいメニューの提案に向けて、季節ごとに調理実習を行いました。

●通常の事業の実施地域･･･小野市・加西市・加東市

**●ケアハウス**

1. **ご利用者の概況**
   * 1. 年齢別（平成２７年３月３１日現在）　　　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年齢 | 70～75 | 76～80 | 81～85 | 86～90 | 91～95 | 96～100 | 合計 |
| 男性 | ０ | ０ | １ | １ | ０ | ０ | ２ |
| 女性 | ０ | ２ | ３ | ６ | ３ | ０ | １４ |
| 合計 | ０ | ２ | ４ | ７ | ３ | ０ | １６ |

* + 1. 要介護度別（平成２７年３月３１日現在）　　　　　　　　　　　　　（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 自立 | 要支援１ | 要支援２ | 要介護１ | 要介護２ | 要介護３ | 要介護４ | 要介護５ | 合計 |
| 男性 | １ | ０ | ０ | １ | ０ | ０ | ０ | ０ | ２ |
| 女性 | ２ | １ | ８ | ２ | １ | ０ | ０ | ０ | １４ |
| 合計 | ３ | １ | ８ | ３ | １ | ０ | ０ | ０ | １６ |

1. **ご利用者への援助目標**
2. 日々の生活の中から細かい変化を見逃さない。
3. ナースコール対応は確実に行う。
4. 病状悪化に伴う精神的ケアは、相手の立場・希望を第一に行う。
5. ＡＤＬの低下に伴う事故に注意する。
6. 必要以上に手出し口出しをしない。
7. ご家族への情報提供のために、定期的に個人面談を実施する。
8. 体調不良時など、ご家族にはケアマネジャーとも連携し、密に連絡する。
9. 必要時、関係部署への情報提供を怠らない。
10. 個人情報の保護を徹底する。

**●在宅介護支援センター**

1. **基本方針**

粟生逢花苑在宅介護支援センターは、『地域包括ケアの推進』を基本方針としています。

この方針は、介護保険法の基本理念の一つとも合致するものです。

小野市内外の行政機関および他事業所と相互に協力し、福祉サービスを必要とする　地域住民が、地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように、地域包括ケアの推進に努め　ます。

この方針のもと、粟生逢花苑在宅介護支援センターは、在宅の要援護高齢者もしくはそのご家族に対し、在宅介護等に関する総合的な相談に応じ、そのニーズに対応した　　各種保健・福祉サービスを総合的に提供するための相談や各機関との連絡・調整を行い、地域における相談援助サービスの総合的窓口となることを目的に、以下の業務を実施　しました。

1. **基本業務**

* 高齢者およびそのご家族に対する相談・援助
* 要支援者および要介護者のケアプラン作成
* 介護保険における申請代行と認定調査
* 在宅高齢者の見守り訪問

1. **業務遂行にあたっての重点**

* 行政機関や地域包括支援センター、その他関係機関との連携
* ケアマネジメントの効果的な実施
* ケアマネジメントのスキルアップ

1. **居宅ケアプラン**（全社協版を使用）
2. 目的

ご利用者が要介護（支援）状態になった場合でも、その有する能力に応じ、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう配慮して、身体介護その他の生活支援を提供することを目的として、居宅サービス計画書を作成・開示しました。

1. 留意点

居宅サービス計画書の作成にあたっては、ご利用者の自立した日常生活への支援を効果的に行うため、ご利用者の心身状態や家族状況等に応じて、継続的かつ計画的に　　サービスの利用が行われるように配慮しました。

日常生活全般を支援する観点から、介護保険対象外の保健・医療・福祉サービスや、地域住民の自発的活動によるサービスなども含めて計画上に位置付けました。

1. 具体的内容

（１）居宅を訪問してご利用者・ご家族に面接、解決すべき課題を把握・分析しました。

（２）ご利用者・ご家族のご意向やアセスメントに基づき、居宅サービス計画書（原案）を作成しました。

（３）サービス担当者会議や担当者への照会等により、原案の内容について担当者から専門的な意見を聴取し、居宅サービス計画書を完成させました。

（４）居宅サービス計画書の内容をご利用者・ご家族に説明し、文書により同意を得、　　　開示しました。

（５）計画の実施状況を把握し、必要に応じて計画の変更や事業所との連絡・調整を　　行いました。実施状況の把握にあたっては、特に事情のない限り、少なくとも　　１か月に１回は居宅を訪問して面接し、モニタリングの結果を記録しました。

（６）更新認定や変更認定があった場合は、サービス担当者会議や担当者への照会等により、計画変更の必要性について担当者から専門的な意見を聴取しました。

変更にあたっても、作成時と同様に一連の業務を行いました。